

2009年度12月期 上半期決算状況

2009年8月5日

日本マクドナルドホールディングス株式会社

日本マクドナルドホールディングス株式会社
代表取締役会長 兼社長 兼CEO

原田 泳幸

2009年度上半期ハイライト

上半期業績サマリー

(単位：百万円)	2008年 上半期	2009年 上半期	前年比	
			増減額	%
全店売上高	250,330	260,621	10,291	+4.1%
連結売上高	202,891	184,074	18,816	9.3%
連結営業利益	7,254	9,636	2,381	+32.8%
連結経常利益	6,854	9,006	2,152	+31.4%
連結当期純利益	6,192	5,005	1,187	19.2%

上半期業績サマリー

増収（全店売上高） 増益

連結営業利益 対前年比 32.8%増

全店売上高

過去最高

連結営業利益・経常利益

上場来最高

全店売上高	前年比	+ 4.1%
既存店売上高	前年比	+ 2.5%
既存店客数	前年比	1.6%
既存店客単価	前年比	+ 4.1%

2009年 重点施策

戦略的経営資源の配分

FC化の更なる推進

バリューフォーマネー

ピープルエクセレンス

2009年 重点施策

戦略的経営資源の配分

FC化の更なる推進

バリューフォーマネー

ピープルエクセレンス

戦略的経営資源の配分



投資集中

上半期で
68店舗
計上

革新的
マーケティング

戦略的閉店

QUARTER POUNDER プロモーション

- 客単価の向上
- 他商品とのシナジー効果
(ビッグマックの販売数 13%UP)
- 革新的手法で、マーケティングROIを向上

2009年 重点施策

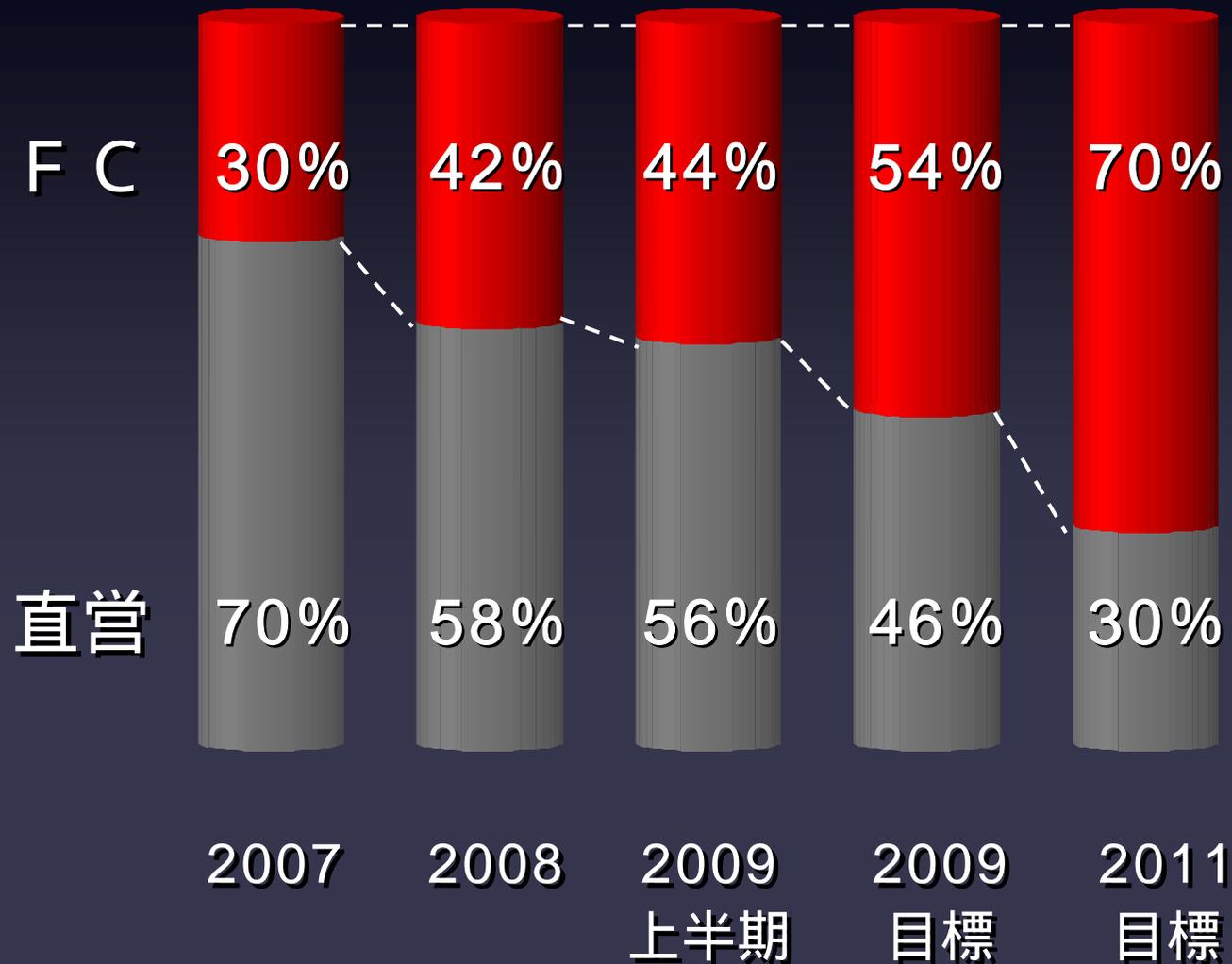
戦略的経営資源の配分

FC化の更なる推進

バリューフォーマネー

ピープルエクセレンス

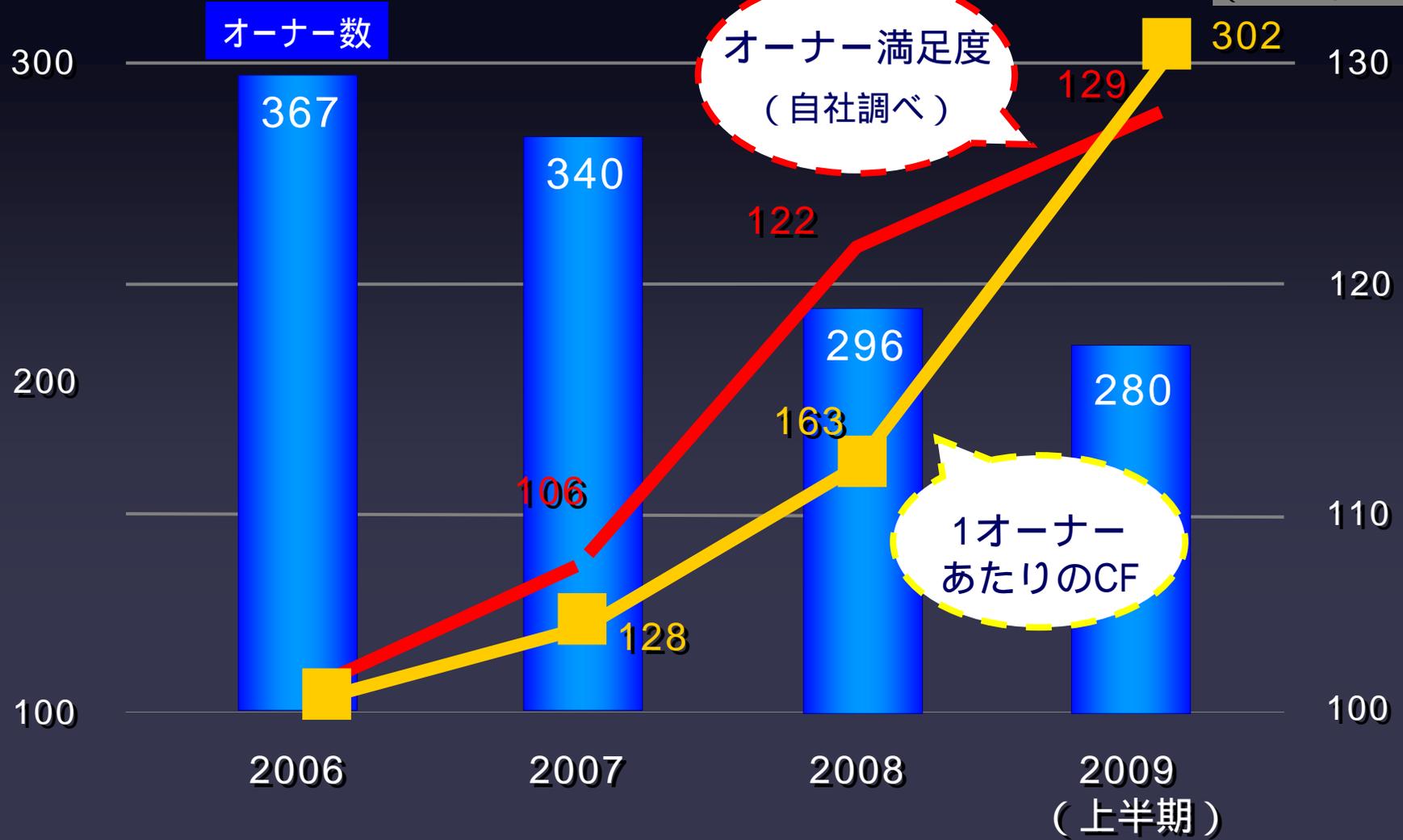
F C 化の更なる推進



FCオーナー指標の推移

キャッシュフロー額
(2006年 = 100)

満足度スコア
(2006年 = 100)



2009年 重点施策

戦略的経営資源の配分

FC化の更なる推進

バリューフォーマネー

ピープルエクセレンス

バリューフォーマネー

“価格が妥当”の満足度向上



消費者調査：マクドナルド調べ

バリューフォーマネー

¥100マック、¥120マック販売数は堅調

週間販売数 / 店



ピープルエクセレンス

- クルーの人数増加
- クルーの離職率の低下
- 社員、店長の残業時間の減少
- 人材への継続的投資

業界各社



価格競争

独自性

経営のパラダイムシフト

新経営陣



創立期 1971年	成長期 1977年～	低迷期 1992年～	利益低下期 1997年～	回復期 2004年～	構造改革 成長期
<p>1971年 銀座第1号店 日本中に新しい 食文化を創造</p>	<p>77年～92年 店舗数約7倍 売上9倍強</p>	<p>既存店売上 マイナス成長</p> <p>客数減少</p> <p>投資中断</p> <p>シェア -3%</p> <p>事業多様化失 敗</p>	<p>急速な店舗展 開</p> <p>既存店売上減</p> <p>経常利益低下</p> <p>投資中断（新 規店舗を除 く）</p>	<p>全店売上高 +27.8%</p> <p>全店客数 +33.5% (+4億人)</p> <p>人事改革</p> <p>投資再開</p> <p>グローバル化</p>	<p>FC戦略</p> <p>グローバル化</p> <p>メニュー戦略</p> <p>新規ビジネス モデル</p> <p>地域戦略</p> <p>マーケティング ゲイノベー ション</p>

2009年度上半期 財務の状況

日本マクドナルドホールディングス株式会社
財務本部 上席部長
今村 朗

30%超の経常増益を支える、 好調なベースビジネス

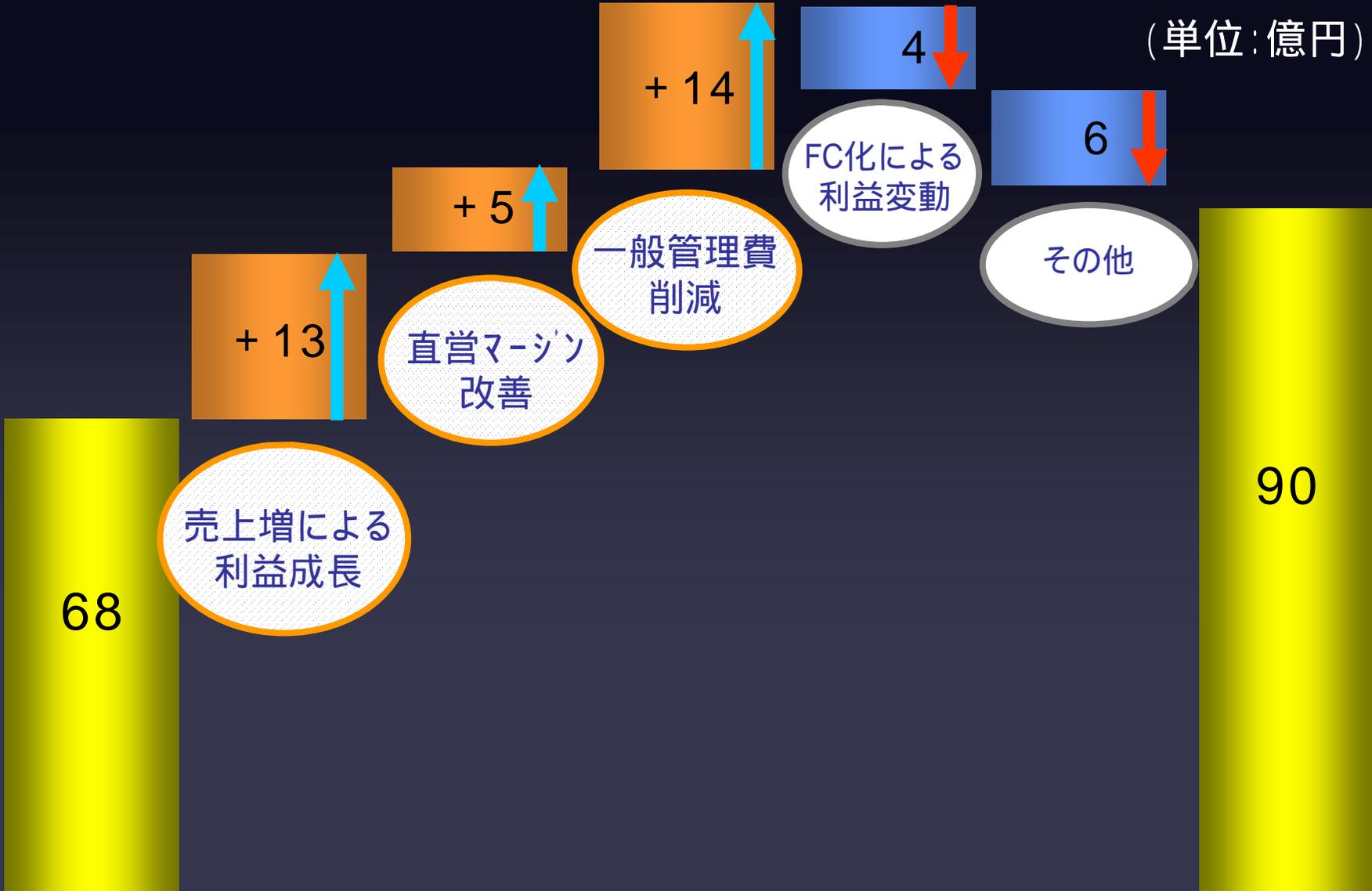
- 客数、客単価、利益のバランスを重視
- 一般管理費を適切にコントロール
- FC化戦略の順調な進捗
- 戦略的閉店の加速

2009年上半期収益状況

(単位：百万円)	2008年 上半期	2009年 上半期	前年比	
			%	増減額
全店売上高	250,330	260,621	+4.1%	10,290
既存店売上	+3.4%	+2.5%	-	-
連結売上高	202,891	184,074	9.3%	18,816
連結売上総利益	32,844	32,398	1.4%	445
連結営業利益	7,254	9,636	+32.8%	2,381
連結経常利益	6,854	9,006	+31.4%	2,152
連結当期純利益	6,192	5,005	19.2%	1,187
連結当期純利益 (除く一時的な特別損益)	3,906	5,469	+40.0%	1,563

經常利益前年対比

(単位: 億円)



2008年上半期
連結經常利益

2009年上半期
連結經常利益 22

貸借対照表・キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	2008年 期末	2009年 上半期末		2008年 上半期	2009年 上半期	
流動資産	30,610	29,627	営業活動 キャッシュフロー	4,418	10,259	
有形・無形 固定資産	98,393	96,960	投資活動 キャッシュフロー	5,827	4,483	
投資その他の 資産	71,020	68,592	財務活動 キャッシュフロー	3,947	3,939	
合計	200,024	195,181	合計	5,356	1,836	
				2008年期末	2009年上半期末	差額
流動負債	57,090	50,938	有形固定資産	81,333	77,933	3,399
固定負債	3,562	3,608	無形固定資産	17,060	19,027	1,966
純資産	139,371	140,634	敷金・保証金	61,910	60,663	1,247
合計	200,024	195,181	その他	9,109	7,929	1,180

通期業績予想

(単位：百万円)	2008年 通期	2009年 通期予想	前年比	
			%	増減額
全店売上高	518,316	530,000	+2.3%	11,684
既存店売上	+4.0%	+1.0 ~ 3.0%	-	-
連結売上高	406,373	355,000	12.6%	51,373
連結営業利益	19,543	23,600	+20.8%	4,056
連結経常利益	18,239	22,000	+20.6%	3,760
連結当期純利益	12,393	12,600	1.7%	206
連結当期純利益 (除く一時的な特別損益)	10,116	12,600	24.6%	2,483

期初予定を据え置き

店舗計画

(単位: 店舗)

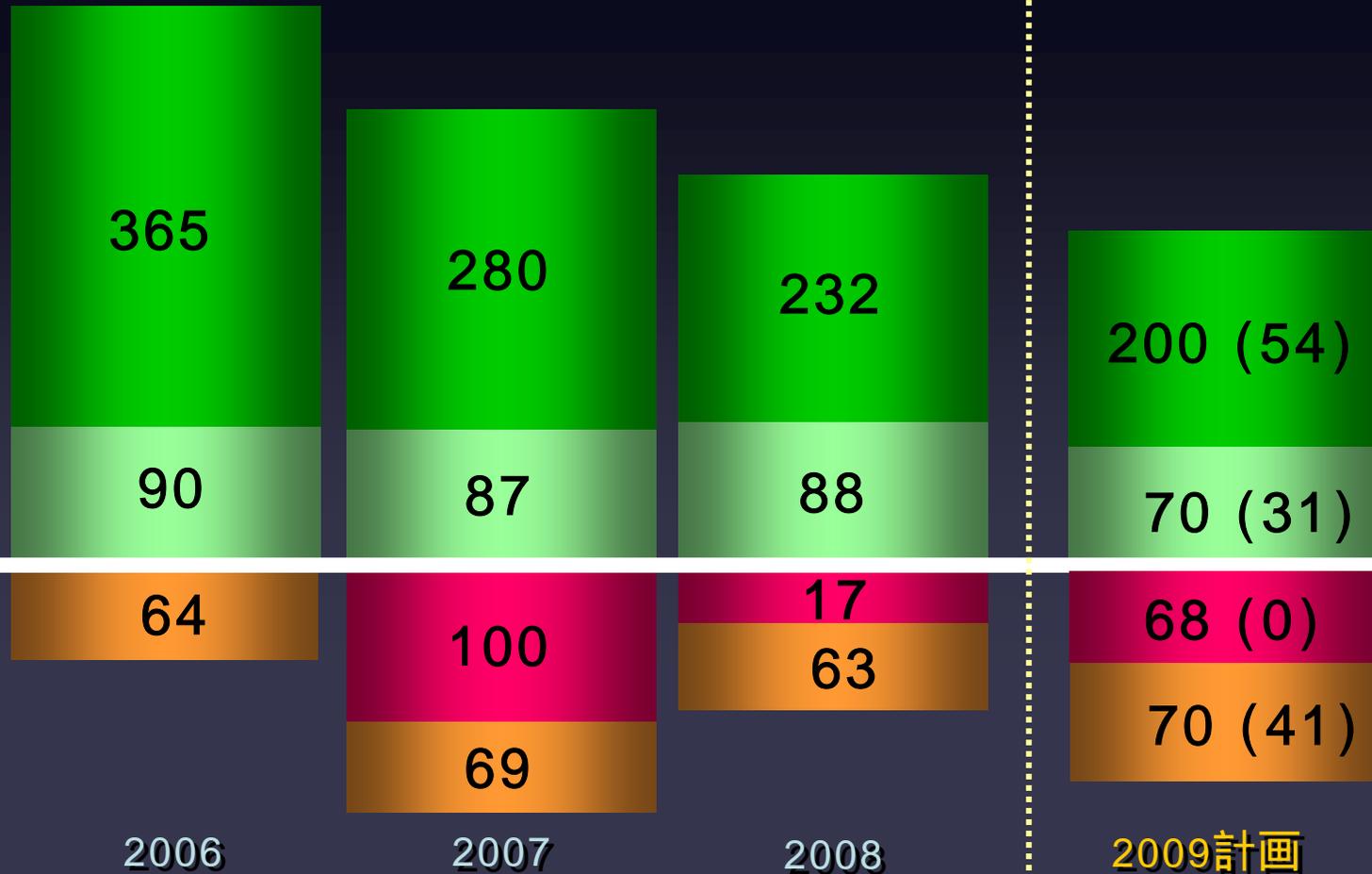
- リモデル
- 出店
- 戦略的閉店
- 閉店

フランチャイズを含む

出店
リモデル



閉店



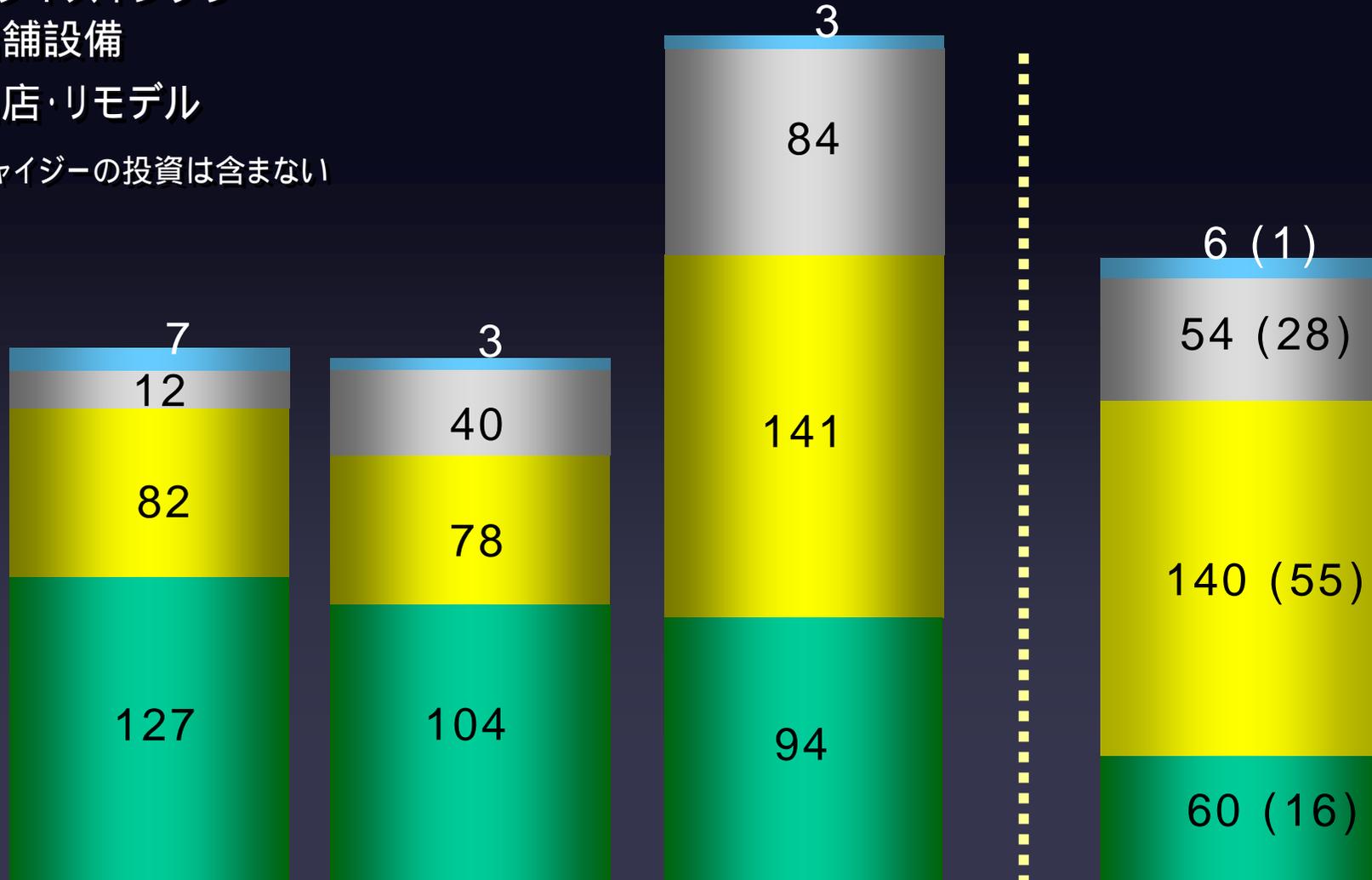
()内は上半期実績値

設備投資計画

(単位: 億円)

- その他
- ビジネスインフラ
- 店舗設備
- 出店・リモデル

フランチャイジーの投資は含まない



()内は上半期実績値 26

下半期の重点施策

2009年 重点施策

戦略的経営資源の配分

FC化の更なる推進

バリューフォーマネー

ピープルエクセレンス

2009年 重点施策

戦略的経営資源の配分

FC化の更なる推進

バリューフォーマネー

ピープルエクセレンス

マーケティングの強化

コーヒー戦略

人気の期間限定商品

ビーフハンバーガー

コーヒー戦略

関東エリア実施店舗 7月24～30日 朝8～9時

コーヒー
サンプリング



平均客数
+45.5%UP



人気の期間限定商品



ビーフハンバーガー



BIG MAC



QUARTER POUNDER.

新たなプロモーションを予定

